

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	日本／ユネスコパートナーシップ事業		<b>担当部局庁</b>	国際統括官付		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成19年度・未定		<b>担当課室</b>	国際統括官付		国際統括官付 国際戦略企画官 梶井 圭子		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 XIV-2 国際協力の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	ユネスコ活動に関する法律(第4条)		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	知的交流を通じたユネスコの理念及び目的の実現に向け、国内のユネスコ活動に関係する機関の活動強化及び幅広い国民のユネスコ活動への参加の促進、更にはユネスコ活動の普及と理解の促進を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	教育、科学、文化及びコミュニケーションの分野から、文部科学省が日本ユネスコ国内委員会の助言に基づいてテーマを設定し、ユネスコ事業の関係機関(ユネスコスクール、大学、地方自治体等)が当該テーマについて我が国の知見や経験を活かした事業(研修セミナー、国際会議、交流活動等)を実施。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	120	86	83	74	53	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0		
	執行額	120	86	83	74	53		
	執行率(%)	104	84	82				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	ユネスコスクール存在都道府県		成果実績	都道府県数	32	34	41	47
			達成度	%	68	72.3	87.2	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施事業数(ユネスコスクール関連)		活動実績 (当初見込み)	件	6	7 ( 6 )	7 ( 8 )	- ( 11 )
			算出根拠	=	予算執行額(82百万円)÷実施事業数(7件)※平成24年度			
<b>単位当たりコスト</b>	11.7百万(円/件)							
平成25・26年度 予算 内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	国際協力推進事業委託費	67.4百万円	47.2百万円					
	庁費	4.5百万円	4.5百万円					
	職員旅費	1百万円	1百万円					
	諸謝金	0.4百万円	0.4百万円					
	委員等旅費	0.3百万円	0.3百万円					
	計	73.6百万円	53.4百万円					

事業所管部局による点検									
	項目		評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	ユネスコ活動に関する法律の趣旨に沿い、知的交流を通じたユネスコに関する活動の更なる振興に取り組むため、広く国民のユネスコ活動への参加の促進、さらには、ユネスコ活動の普及と理解の促進を図ることを目的として国が実施すべき事業である。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○						
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募(企画競争)を実施しており、その妥当性や競争性を確保しているところ。また、委託契約の締結に当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っているところである。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○						
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○						
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—						
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業実施にあたっては、より効率的・安価な方法を検討し実施しており、当該事業で得られた成果物については、教育関係機関を始め、広く一般にも利用できるよう、ホームページに掲載するなどの工夫を行っている。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○						
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
点検結果	<p>本事業は、教育、科学、文化及びコミュニケーションの分野において、ユネスコ事業の関係機関が我が国の知見や経験を生かした事業を実施することを目的とするものであり、今後の事業実施に当たっては、我が国が主導している事業・比較優位を有する事業(持続可能な開発のための教育等)に重点化するなど、効果的・効率的な執行に努める。</p>								
外部有識者の所見									
外部有識者による点検対象外									
行政事業レビュー推進チームの所見									
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、教育、科学、文化及びコミュニケーションの分野において、ユネスコ事業の関係機関が我が国の知見や経験を生かした事業を実施するものであり、長期継続事業及び契約・執行手続の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 本事業は、概ね計画通りに執行されたものと考えられるが、情報公開のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>								
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況									
執行等改善	<p>本事業については、教育、科学、文化及びコミュニケーションの分野において、ユネスコ事業の関係機関が我が国の知見や経験を生かした事業を実施するものであるが、契約の競争性、公平性、透明性の一層の向上を図るため、平成25年度の事業実施に当たっては、申請事案件数及び採択事業等のホームページでの公表を実施している。</p>								
備考									
<p>・日本/ユネスコパートナーシップ事業  <a href="http://www.mext.go.jp/unesco/015/index.htm">http://www.mext.go.jp/unesco/015/index.htm</a></p> <p>・ユネスコスクール  <a href="http://www.unesco-school.jp/">http://www.unesco-school.jp/</a></p>									
関連する過去のレビューシートの事業番号									
	平成22年	0419	平成23年	0023	平成24年	0018			

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省  
82 百万円

〔 庁 費 4 百万円  
その他 1 百万円  
(旅 費、諸謝金) 〕

〔 ○パートナーシップ事業審査委員会の  
設置・委託事業の選定  
○パートナーシップ事業全体の運営管  
理(委託事業費の支出等も含む) 〕

【企画競争・委託】

【企画競争・委託】

A 国立大学法人  
奈良教育大学等

39 百万円  
( 全3機関 )

B ユネスコ・アジア  
文化センター等

38 百万円  
( 全6機関 )

〔 ○ASPUnivNet事務局等  
○世界会議に向けた準備・ESD  
理解促進啓発プログラム  
○「ESDの10年・地球市民会議  
2012」フォーラム 〕

〔 ○ユネスコスクール事務局運営等  
○ユネスコスクール全国大会  
○ESD・世界遺産学習の普及・促進等  
○ユネスコスクールを支える地域づくりフォーラム  
○アジア太平洋地域無形文化遺産保護活動の調査研  
○ESD推進を通じた既存ユネスコエコパークの活性化等 〕

【企画競争・再委託】

C 大阪府立大学等

25 百万円  
( 全17機関 )

〔 ○ユネスコスクールの加盟推進(研修会・説明会等の実施)  
○ユネスコスクールネットワークの推進交流等  
○ESD普及支援委員会事務局等  
○広報企画案等作成業務  
○地球市民会議運営委託等  
○成果公表用パンフレットの作成 〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A. 国立大学法人奈良教育大学					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
再委託費	再委託先にかかる事業費	17			
事業費	諸謝金、旅費等	4			
その他	人件費、一般管理費	2			
計		23	計		0
B. ユネスコ・アジア文化センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	諸謝金、旅費等	7			
人件費	賃金	6			
一般管理費	事業実施に係る一般管理費	1			
計		14	計		0
C. 大阪府立大学					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	事業費(諸謝金、旅費等)、人件費、一般管理費	3			
計		3	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人奈良教育大学 (ASPUnivNet)	ASPUnivNet事務局機能等	22	企画競争	—
2	株式会社電通中部支社	世界会議に向けた準備・ESD理解促進啓発プログラム	9.7	企画競争	—
3	「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム	「ESDの10年・地球市民会議2012」フォーラム	7	企画競争	—

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

B.

1	公益財団法人ユネスコアジア文化センター	ユネスコスクール事務局運営等	14	企画競争	—
2	独立行政法人国立文化財機構	アジア太平洋地域無形文化遺産保護活動の調査研究	10	企画競争	—
3	NPO法人日本持続発展教育推進フォーラム	第4回ユネスコスクール全国大会	7.4	企画競争	—
4	奈良市	世界遺産学習全国サミットの開催等	3	企画競争	—
5	国立大学法人横浜国立大学	ESD推進を通じた既存ユネスコエコパークの活性化と新規登録推進のための調査研究及び実践活動	2.2	企画競争	—
6	岡山市	ユネスコスクールを支える地域づくりフォーラム	2	企画競争	—

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

C.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	大阪府立大学	ユネスコスクール研修会及びASPUnivNet運営管理業務等	3.3	企画競争	—
2	キッズコーポレーション	地球市民会議運営委託等	3.2	企画競争	—
3	宮城教育大学	ユネスコスクール研修会及びASPUnivNet運営管理業務等	3	企画競争	—
4	(株)クロスフィット	ESD普及支援委員会事務局等	3	企画競争	—
5	愛知教育大学	ユネスコスクール研修会及びASPUnivNet運営管理業務等	2.3	企画競争	—
6	金沢大学	ユネスコスクール研修会及びASPUnivNet運営管理業務等	1.8	企画競争	—
7	(有)ネクストコミュニケーション	広報企画案等作成業務	1.8	企画競争	—
8	北海道教育大学釧路校	ユネスコスクール研修会及びASPUnivNet運営管理業務等	1.5	企画競争	—
9	岡山大学	ユネスコスクール研修会及びASPUnivNet運営管理業務等	0.9	企画競争	—
10	立命館アジア太平洋大学	ユネスコスクール研修会及びASPUnivNet運営管理業務等	0.8	企画競争	—